

そらこめ通信

No.12 2011.7発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

さて、初夏から夏本番を迎え、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。このところ(6月下旬~7月初旬)ぐずついた天気が続いていますが、体調など崩されていませんか。梅雨のない北海道では今が一番過ごしやすい季節といわれています。それでも、もう少し初夏を満喫できる天候であってほしいと願っているところですが、贅沢を言うてはだめですね。先の大震災で被災された方々のうち、いまだ多くの方々が避難所で不自由な生活を送っておられます。命があって、こうして、前年と同様に農業に取り組んでいるだけで幸せなのだと思わなければ・・・。

5月29日に無事田植えを終えることができました。現在は水田の水管理と併せて畦の草刈などを行っています。今年はどうなるのか・・・。初めて作付けた新品種(北海300号、302号)はどんなコメに仕上がるのか・・・。楽しみや不安などが入り混じった複雑な心境です。



田植え作業です。今年の水稲作付面積は約23ha、田植えは休みなく9日間も続くため機械には交代で乗ります。



田植えが終わり休む間もなく後片付け

転作田にはソバを作付け(鎮圧ローラー作業)

畦草刈も重要な仕事です



収穫が終わった育苗ハウスの土に緑肥として「えん麦」を蒔いているところです。

空いたハウスを利用してダリアの定植作業

緑肥とは⇒肥料にするために地中にすき込む作物の事。緑肥の主な目的はその地力を上げる事ですが、土壌の病害虫を防除する効果もあるようです。いずれにしても、化学肥料だけに頼らず土作りに向けてのこうした地道な努力は大事です。



我々の地域の水がめ「大枝沢ダム」



ダムの水を送水する為に作られた揚水機場



揚水機場に設置された巨大なポンプ



奔竜第2頭首工



更新第3頭首工

頭首工とは、河川の水を取水するために河川の途中に作られた堰のことです。



今年新たに作付けされた新品種「ゆきがすみ(北海300号)」と「ゆきさやか(北海302号)」の看板・・・。どちらも北海道農業研究センターさんが開発した極良食味米です。どんな味なのか今から楽しみです。



写真(左側)⇒ラジコンボート(通称ラジボ)による除草剤散布～弊社は減農薬での米の生産を目指しているため「北海道クリーン農業推進協議会」に加入しています。当然、使える薬剤や回数にも制限があります。弊社では基本的に圃場での除草剤散布はこの1回だけ。写真(右側)⇒最近特に増えている「エゾシカ」の出没、シカにより荒らされた水田の様子。ちょっとした問題になりつつあります。米作農業を行ううえで様々な障害に当たります。その一つに雑草や病害虫との戦いがあります。消費者の皆様にご安心して食べていただける「安全なお米」、しかも「美味しい」という2つのキーワードを満足させなければなりません。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

(株)空知こめ工房 ホームページ

<http://www.sorachi-kome.jp/>

「生産日誌」日々更新中です(見て下さいね)

インターネットで美味しいお米♪